

## 社会福祉法人ニコニコハウス平成26年度事業報告書

### I 法人の概要

|            |  |         |           |
|------------|--|---------|-----------|
| 主たる事務所の所在地 | 愛知県名古屋市長南区鶴里町3丁目40番地1（電話 052-825-0711） |         |           |
| 代表者職氏名     | 理事長 石川三枝子                              |         |           |
| 法人認可年月日    | 平成8年6月13日                              | 設立登記年月日 | 平成8年6月21日 |

### II 法人の行う事業

| 事業の種類                              | 種類及び名称                         | 管理者氏名                     | 利用者数   | 職員数              |
|------------------------------------|--------------------------------|---------------------------|--------|------------------|
| 第2種社会福祉事業                          | 障害福祉サービス事業<br>(ニコニコハウス鶴里)      | 井上 英也                     | 40名    | 常勤 6名<br>非常勤 20名 |
|                                    | 老人デイサービスセンター<br>(ニコニコデイサービス鶴里) | 浅井 志朗                     | 29名    | 常勤 4名<br>非常勤 12名 |
|                                    | 障害福祉サービス事業<br>(ニコニコホーム)        | 松浦信太郎                     | 26名    | 常勤 6名<br>非常勤 31名 |
|                                    | 一般相談支援事業<br>(南区障害者地域生活支援センター)  | 儀保 高雄                     |        | 常勤 3名            |
|                                    | 特定相談支援事業<br>(南区障害者地域生活支援センター)  | 儀保 高雄                     |        |                  |
|                                    | 障害児相談支援事業<br>(南区障害者地域生活支援センター) | 儀保 高雄                     |        |                  |
|                                    | 障害福祉サービス事業<br>(ヘルパーステーションわはは)  | 浅井 志朗                     | (約30名) | 常勤 3名<br>非常勤 1名  |
|                                    | 移動支援事業<br>(ヘルパーステーションわはは)      | 浅井 志朗                     | (約52名) | 登録ヘルパー<br>約25名   |
|                                    | 障害福祉サービス事業<br>(ショートステイどんたく)    | 杉山 誠                      | 約100名  | 常勤 2名<br>非常勤 5名  |
|                                    | 障害福祉サービス事業<br>(ニコニコハウス鳴海)      | 石川 修平                     | 20名    | 常勤 4名<br>非常勤 9名  |
|                                    | 特定相談支援事業所<br>(つるさと相談支援事業所)     | 阿隅 貴臣                     |        | 常勤 2名<br>非常勤 1名  |
|                                    | 障害児相談支援事業所<br>(つるさと相談支援事業所)    | 阿隅 貴臣                     |        |                  |
|                                    | 公益事業                           | 居宅介護支援事業<br>(介護支援センターなごみ) | 阿隅 貴臣  | 105名             |
| 障害者・高齢者在宅生活支援事業<br>(地域生活支援センターなごみ) |                                | 松岡 茂                      |        | 常勤 1名            |

(職員数は平成26年4月1日現在)

### III 役員(理事定数8名、監事定数2名)の状況

| 役職  | 氏名    | 就任年月日     | 備考 | 職業、社会的活動、所属等 | 理事会<br>出席回数 |
|-----|-------|-----------|----|--------------|-------------|
| 理事長 | 石川三枝子 | 平成8年6月23日 | 重任 | 無職、法人評議員     | 5回          |
| 理事  | 石川 武彦 | 平成8年6月23日 | 重任 | 無職、法人評議員     | 5回          |
| 理事  | 斎藤 義彰 | 平成8年6月23日 | 重任 | 無職、法人評議員     | 5回          |
| 理事  | 塩原 功一 | 平成8年6月23日 | 重任 | 無職、法人評議員     | 3回          |
| 理事  | 岡部 裕司 | 平成8年6月23日 | 重任 | 無職、法人評議員     | 5回          |

|    |       |                  |    |                   |     |
|----|-------|------------------|----|-------------------|-----|
| 理事 | 青山 修司 | 平成 18 年 6 月 23 日 | 重任 | 片平学区民生委員会長、法人評議員  | 3 回 |
| 理事 | 成田ちづ子 | 平成 26 年 6 月 23 日 | 新任 | 春日野学区民生委員会長、法人評議員 | 3 回 |
| 理事 | 松岡 茂  | 平成 16 年 6 月 23 日 | 重任 | 生活支援部門管理者、法人評議員   | 5 回 |
| 監事 | 渡邊 哲基 | 平成 26 年 6 月 23 日 | 新任 | 税理士               | 3 回 |
| 監事 | 青木 仁子 | 平成 8 年 6 月 23 日  | 重任 | 弁護士               | 0 回 |

(役員は平成 27 年 3 月 31 日現在)

#### IV 評議員(定数 17 名)の状況

| 役職  | 氏名    | 就任年月日             | 備考 | 職業、社会的活動、所属等     | 評議員会出席回数 |
|-----|-------|-------------------|----|------------------|----------|
| 評議員 | 八田 一郎 | 平成 10 年 5 月 17 日  | 重任 | ニコニコハウス鶴里保護者     | 2 回      |
| 評議員 | 小池 久  | 平成 10 年 5 月 17 日  | 重任 | ニコニコデイサービス鶴里利用者  | 1 回      |
| 評議員 | 田中 清  | 平成 22 年 5 月 17 日  | 重任 | 鶴里東町内会会長         | 2 回      |
| 評議員 | 成田 民代 | 平成 23 年 5 月 22 日  | 重任 | 春日野学区民生児童委員      | 3 回      |
| 評議員 | 鳥居 順子 | 平成 26 年 5 月 17 日  | 新任 | 片平学区民生児童委員       | 3 回      |
| 評議員 | 進 千代子 | 平成 17 年 3 月 27 日  | 重任 | 春日野学区民生児童委員      | 3 回      |
| 評議員 | 阿隅 貴臣 | 平成 24 年 12 月 2 日  | 新任 | 介護支援センターなごみ管理者   | 3 回      |
| 評議員 | 松岡 茂  | 平成 15 年 5 月 17 日  | 重任 | 生活支援部門管理者、法人常務理事 | 3 回      |
| 評議員 | 石川 武彦 | 平成 10 年 5 月 17 日  | 重任 | 法人理事             | 3 回      |
| 評議員 | 斎藤 義彰 | 平成 10 年 5 月 17 日  | 重任 | 法人理事             | 3 回      |
| 評議員 | 塩原 功一 | 平成 10 年 5 月 17 日  | 重任 | 法人理事             | 2 回      |
| 評議員 | 岡部 裕司 | 平成 10 年 5 月 17 日  | 重任 | 法人理事             | 3 回      |
| 評議員 | 浅井 志朗 | 平成 17 年 12 月 11 日 | 重任 | ニコニコデイサービス鶴里施設長  | 2 回      |
| 評議員 | 八木 俊介 | 平成 16 年 12 月 5 日  | 重任 | 労務経営管理コンサルタント    | 2 回      |
| 評議員 | 青山 修司 | 平成 18 年 5 月 17 日  | 重任 | 片平学区民生委員会長、法人理事  | 2 回      |
| 評議員 | 成田ちづ子 | 平成 26 年 5 月 17 日  | 新任 | 春日野学区民生委員会長、法人理事 | 3 回      |
| 評議員 | 石川三枝子 | 平成 10 年 5 月 17 日  | 重任 | 法人理事長            | 3 回      |

(評議員は平成 27 年 3 月 31 日現在)

#### V 理事会開催状況

| 開催年月日            | 出席者数             | 議決事項   |
|------------------|------------------|--|
| 平成 26 年 5 月 2 日  | 理事 7 名<br>監事 1 名 | ・評議員の委嘱について  |
| 平成 26 年 5 月 25 日 | 理事 6 名<br>監事 1 名 | ・平成 25 年度事業報告の議決<br>・平成 25 年度の決算の議決<br>・基本財産の組み入れの議決<br>・定款の変更(基本財産の追加)の議決<br>・基本財産の担保提供の議決<br>・笠寺物件の売却の議決   |
| 平成 26 年 6 月 23 日 | 理事 8 名<br>監事 1 名 | ・理事長の選任の議決<br>・理事長に事故あるとき、又は欠けたときに理事長の職務を代理する理事の指名の承認<br>・常務理事の指名の同意   |
| 平成 26 年 12 月 7 日 | 理事 8 名<br>監事 1 名 | ・ニコニコハウス鶴里パンオープン購入に伴う施設整備等積立預金の取り崩しの議決<br>・平成 26 年度第 1 次補正予算案の議決<br>・公益事業地域生活支援センターなごみの廃止の議決<br>・定款の変更(事業の削除)の議決<br>・新会計基準に基づく経理規程の改正案の議決<br>・就業規則(勤務時間別表)の改正の議決 |

|                  |                  |  |
|------------------|------------------|--|
|                  |                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営規程の変更の議決</li> <li>・役員報酬・費用弁償に関する規程改正の議決</li> </ul>   |
| 平成 27 年 3 月 22 日 | 理事 6 名<br>監事 1 名 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 2 6 年度積立預金積立支出案の議決</li> <li>・公益事業地域生活支援センターなごみの財産の本部移管の議決</li> <li>・平成 2 6 年度第 2 次補正予算案の議決</li> <li>・平成 2 7 年度事業計画案の議決</li> <li>・平成 2 7 年度予算案の議決</li> <li>・就業規則・賃金規程の改正案の議決</li> <li>・経理規程の修正案の議決</li> <li>・危機管理規程案の議決</li> </ul> |

## VI 評議員会開催状況

| 開催年月日            | 出席者数               | 議決事項  |
|------------------|--------------------|---|
| 平成 26 年 5 月 25 日 | 評議員 14 名<br>監事 1 名 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 2 5 年度事業報告の承認</li> <li>・平成 2 5 年度の決算の承認</li> <li>・基本財産の組み入れの承認</li> <li>・定款の変更（基本財産の追加）の承認</li> <li>・基本財産の担保提供の承認</li> <li>・笠寺物件の売却の承認</li> <li>・監事・理事の選任の議決</li> </ul>  |
| 平成 26 年 12 月 7 日 | 評議員 17 名<br>監事 1 名 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニコニコハウス鶴里パンオープン購入に伴う施設整備等積立預金の取り崩しの承認</li> <li>・平成 2 6 年度第 1 次補正予算案の承認</li> <li>・公益事業地域生活支援センターなごみの廃止の承認</li> <li>・定款の変更（事業の削除）の承認</li> <li>・新会計基準に基づく経理規程の改正案の承認</li> <li>・就業規則（勤務時間別表）の改正の承認</li> <li>・運営規程の変更の承認</li> <li>・役員報酬・費用弁償に関する規程改正の承認</li> </ul> |
| 平成 27 年 3 月 22 日 | 評議員 14 名<br>監事 1 名 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 2 6 年度積立預金積立支出案の承認</li> <li>・公益事業地域生活支援センターなごみの財産の本部移管の承認</li> <li>・平成 2 6 年度第 2 次補正予算案の承認</li> <li>・平成 2 7 年度事業計画案の承認</li> <li>・平成 2 7 年度予算案の承認</li> <li>・就業規則・賃金規程の改正案の承認</li> <li>・経理規程の修正案の承認</li> <li>・危機管理規程案の承認</li> </ul>                          |

## VII 法人として重点的に取り組んだ事項

- ・ 基本理念の確認と浸透  
法人内研修を実施し法人理念の重要性確認、法人理念を確認できるためのクレド作成検討を実施。
- ・ 事業体制の整備  
基幹相談支援センターの初年度体制整備を進めた。  
各事業所の安全・衛生体制の整備、衛生講習会等を実施。  
高齢者デイサービスの事業内容改善の分析、検討を実施。
- ・ 人材育成  
新卒求人確保、定期人事異動の検討、人材育成に関する法人内研修、管理者育成勉強会等定期実施。
- ・ 環境整備



|        |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |          |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----------|
| 生活介護   | 87 | 96 | 87 | 94 | 85 | 70 | 68 | 51 | 54 | 80 | 86 | 73 | 931/77.6 |
| 延べ利用者数 | 87 | 96 | 87 | 94 | 85 | 70 | 68 | 51 | 54 | 80 | 86 | 73 | 931/77.6 |

全事業合わせて利用者数

|      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|      | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 平均   |
| 一日平均 | 20.0 | 18.1 | 18.1 | 17.9 | 17.6 | 17.4 | 18.6 | 16.3 | 17.7 | 18.9 | 19.9 | 17.7 | 18.2 |

### 3 主な行事

花見 4/3～5

避難訓練 10/28 3/25

夏祭り 8/28～30

運動会 10/23～27

クリスマス会 12/23～25

外出（不定期に小グループを編成して実施）

ボランティアによるピアノ・フルート演奏会、大正琴演奏会、歌と踊りの会、歌の会など随時実施

### 4 監査指摘事項及び改善事項

平成26年度監査なし。

### 5 その他問題点及び反省事項

- ・ 年度前半に2名の嘱託職員が退職。その後の採用や教育等の職員体制整備に時間がかかり、営業活動や送迎範囲拡大等、利用者増に向けての取り組みが十分にできなかった。競合するデイサービスが増加しているが、差別化を図ることができなかった。
- ・ 延べ利用者数をみると、介護保険利用者では昨年度よりも約1200名の減少、障害利用者では昨年度よりも約150名の減少となっている。1日あたり平均利用者数でみると、昨年度に比べて約4名の減少となった。
- ・ 利用者に満足いただくため、手作業プログラムを増やしたり、パソコンを取り入れたり、個別に歩行訓練をしたり、外注昼食の際お寿司を買ってきて皆さんでお寿司パーティーをしたりと、いろいろ工夫したところもあるが、個別にあうプログラムを見つけられないなど、まだまだ出来ないところも多かった。

## B 介護支援センターなごみ(指定居宅介護支援事業)

### 1 職員構成（平成26年4月1日現在）

|     |    |                     |
|-----|----|---------------------|
| 常勤  | 3名 | 介護支援専門員（内1名は管理者を兼務） |
| 非常勤 | 0名 |                     |

### 2 事業実績

|          |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |     |
|----------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
|          | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
| 居宅介護支援事業 | 64 | 64 | 64 | 64 | 64 | 65 | 59  | 60  | 59  | 62 | 59 | 59 | 743 |
| 予防支援受託事業 | 18 | 16 | 16 | 18 | 17 | 16 | 15  | 15  | 17  | 16 | 18 | 21 | 203 |
| 認定調査     | 5  | 8  | 6  | 9  | 5  | 5  | 4   | 3   | 4   | 4  | 6  | 6  | 64  |
| なんでも相談   | 5  | 5  | 6  | 5  | 5  | 4  | 5   | 1   | 9   | 7  | 4  | 12 | 96  |

### 3 監査指摘事項及び改善事項

平成26年度監査なし

### 4 その他問題点及び反省事項

- ・ 昨年度と比べて、介護支援にかかるケアプラン作成実績数は延べ60件の減少、予防支援受託件数は延べ12件

の増加となった。年間通じてのケアマネジメント新規依頼件数は20件で、昨年度より2件の増加であった。新規ケースの依頼元については、約半数の11件がいきいき支援センターからの依頼であった。また、年間の入院者数は延べ41人で、ひと月あたり約3.4人が入院された計算となった（骨折、肺炎、脱水が多い）。

- ・今年度は、重点目標として、地域との関係づくりを掲げて、近隣学区で開催されているサロン等を積極的に訪問して、サロンを運営されている地域の役員の方々との交流を図った。このうち、桜学区については、27年度にいきいき支援センターと当事業所共同で、区政、民生向けの認知症講座を実施する計画となった。

## C つるさと相談支援事業所（特定相談支援事業、児童相談支援事業）

### 1 職員構成（平成26年4月1日現在）

|     |    |                         |
|-----|----|-------------------------|
| 常勤  | 2名 | 相談支援専門員（専従）1名、管理者（兼務）1名 |
| 非常勤 | 1名 |                         |

### 2 事業実績

#### 基本相談

|      | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計   |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 電話相談 | 36 | 30 | 40 | 27 | 33 | 40 | 31  | 32  | 37  | 29 | 27 | 28 | 390 |
| 来所相談 | 6  | 3  | 6  | 1  | 3  | 4  | 2   | 2   | 5   | 1  | 3  | 6  | 42  |
| 訪問相談 | 5  | 4  | 11 | 23 | 19 | 16 | 17  | 18  | 21  | 13 | 30 | 32 | 209 |

#### 計画相談

|            | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計   |
|------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| サービス等利用計画案 | 12 | 7  | 11 | 17 | 9  | 9  | 5   | 4   | 10  | 7  | 3  | 15 | 109 |
| サービス等利用計画  | 10 | 9  | 8  | 11 | 18 | 7  | 11  | 3   | 8   | 9  | 6  | 4  | 104 |
| モニタリング     | 20 |    | 23 | 18 | 20 | 20 | 20  | 18  | 24  | 27 | 20 | 28 | 238 |

### 3 監査指摘事項及び改善事項

平成26年度監査なし。

### 4 その他問題点及び反省事項

- ・今年度より、新たに非常勤職員を迎えて、常勤換算1.3人の体制で相談業務をおこなった。新規の相談件数が伸び続け、当初は計画案を80件程度と見込んでいたが、大きく上回る109件の実績となった。月によって計画相談件数に波があり、忙しい月に新規依頼があったときには、スケジュールの都合上訪問を組み込むことが困難で、他事業所を先に当たってもらうようお願いせざるを得ないこともあった。
- ・契約者数が増えるに伴って、基本相談（サービス利用計画には関連しない相談）や事務作業も増加し、残業が慢性化しているため、業務の効率化や人員配置等の工夫が必要となっている。

## D 支援センターなごみ（名古屋市障害者基幹相談支援センター運営事業）

（特定相談支援事業・一般相談支援事業・障害児相談支援事業）

### 1 対象者

|                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 名古屋市障害者基幹相談支援センター運営事業 | 南区在住の障害者及び総合支援法対象難病患者 |
| 特定相談・一般相談・障害児相談支援事業   | 障害児者及び総合支援法対象難病患者     |

## 2 事業内容

|                       |                                      |
|-----------------------|--------------------------------------|
| 名古屋市障害者基幹相談支援センター運営事業 | 相談（訪問・外来）・障害程度区分認定調査・自立支援協議会運営、苦情受付等 |
| 指定相談事業                | 基本相談、サービス等利用計画作成                     |

## 3 職員構成（平成26年4月1日現在）

|     |    |                    |
|-----|----|--------------------|
| 常 勤 | 3名 | 副センター長1名、相談支援専門員2名 |
|-----|----|--------------------|

## 4 事業実績

|         | 4   | 5   | 6   | 7   | 8   | 9   | 10  | 11  | 12  | 1   | 2   | 3   | 合計    |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 訪問相談    | 165 | 167 | 149 | 139 | 125 | 138 | 137 | 120 | 111 | 98  | 107 | 140 | 1,596 |
| 外来相談    | 153 | 175 | 190 | 209 | 192 | 193 | 185 | 171 | 183 | 181 | 195 | 193 | 2,220 |
| 自立支援協議会 | 1   | 0   | 1   | 2   | 2   | 7   | 8   | 6   | 7   | 4   | 7   | 4   | 49    |
| 認定調査    | 31  | 28  | 22  | 44  | 27  | 38  | 39  | 27  | 25  | 35  | 38  | 33  | 387   |
| 配食サービス  | 9   | 3   | 9   | 2   | 8   | 2   | 11  | 6   | 8   | 4   | 13  | 11  | 86    |
| 計画相談    | 10  | 20  | 12  | 9   | 16  | 18  | 10  | 19  | 8   | 7   | 9   | 15  | 153   |

## 5 監査指摘事項及び改善状況

平成26年度監査なし。

## 6 その他問題点・反省点・改善点等

- ・基幹相談支援センターの開所以降、新規相談ケースが激増した。他法人と共同運営となり、相談員の人数も増えたが、訪問・外来の相談延件数は昨年度の倍以上となった。相談内容も多岐に渡り、引きこもり、医療拒否、金銭トラブル、家族間不調和、高齢化などとなっている。相談員のスキルアップや他の専門機関との円滑な連携が今後ますます必要となってくる。
- ・本部とサテライト2箇所での運営としているが、増加している精神障害者からの相談について、本部職員に対応ノウハウが不足している。精神保健福祉士を募集していたが、応募が少なく、また採用内定を出した方に辞退されるなどして、結局、本部においては、年間通じて精神保健福祉士の採用が出来なかった。
- ・自立支援協議会については、今年度から、従来の事業所別部会を再編して、課題別ワーキンググループ（以下WG）への移行を図った。当初は、事務局側の意図が構成員にうまく伝わらずに、部会が消滅することへの危惧から再編反対の意見も強かったが、説明を重ねて理解を得た。今年度中に7つのWGが発足し、年度後半は活発にWG活動も進むようになってきた。

## E ヘルパーステーションわはは（居宅介護・行動援護・重度訪問介護・同行援護／移動支援事業）

### 1 対象者

児童、知的障害者、身体障害者、精神障害者、難病等対象者

### 2 事業内容

居宅介護(家事援助・身体介護・通院介助)・行動援護・重度訪問介護・同行援護

移動支援事業

### 3 職員構成

|     |      |                 |
|-----|------|-----------------|
| 常 勤 | 3名   | 管理者1、サービス提供責任者2 |
| 非常勤 | 約26名 | 事務員1、登録ヘルパー約25  |

4 事業実績

|     | 身体介護  | 家事援助 | 重度訪問  | 行動援護 | 通院介助<br>(身体有) | 通院介助<br>(身体無) | 移動支援 | 同行援護<br>(身体有) | 同行援護<br>(身体無) | 合計    |
|-----|-------|------|-------|------|---------------|---------------|------|---------------|---------------|-------|
| 時 間 | 791.0 | 724  | 427.5 | 1381 | 0             | 0             | 6446 | 414           | 55.5          | 10239 |
| 件 数 | 828   | 683  | 121   | 468  | 0             | 0             | 3406 | 281           | 34            | 5821  |

5 監査指摘事項及び改善状況

平成26年度監査なし。

6 その他問題点及び反省事項

- ・ 前年度と比較し、提供時間352.5時間増、件数201件増となった。身体介護・家事援助の提供は減ったが、重度訪問、移動支援、同行援護の提供が増えた。
- ・ サービス利用計画作成に伴う相談事業所、家族、関係機関との調整会議が増えた。
- ・ 求人広告を出してもあまり反応なし。人づてなどで、若干名の新規登録ヘルパーを確保した。
- ・ 業務管理が上手くいかず、常勤職員の慢性的業務過多を解消することができなかった。

F ショートステイどんたく（短期入所事業・日中一時受入事業）

1 対象者

|          |                      |
|----------|----------------------|
| 短期入所事業   | 児童・知的障害者・身体障害者・精神障害者 |
| 日中一時受入事業 | 児童・知的障害者             |

2 利用定員

12名

3 職員構成

|     |    |             |
|-----|----|-------------|
| 常 勤 | 2名 | 管理者・介助員の兼務1 |
| 非常勤 | 5名 | 介助員4、調理員1   |

4 事業実績

| 月    |      | 4  | 5  | 6  | 7   | 8  | 9  | 10  | 11 | 12 | 1  | 2  | 3  | 合計    | 平均  |
|------|------|----|----|----|-----|----|----|-----|----|----|----|----|----|-------|-----|
| 短期入所 | 延利用数 | 84 | 89 | 96 | 101 | 80 | 95 | 104 | 93 | 87 | 88 | 94 | 88 | 1,099 | 4.3 |
|      | 営業日数 | 22 | 21 | 22 | 22  | 18 | 22 | 22  | 19 | 19 | 20 | 20 | 23 | 250   |     |
| 日中一時 | 延利用数 | 94 | 96 | 92 | 79  | 68 | 83 | 88  | 74 | 84 | 82 | 81 | 90 | 1,011 | 4.2 |
|      | 営業日数 | 21 | 20 | 21 | 21  | 16 | 21 | 21  | 18 | 19 | 18 | 19 | 22 | 237   |     |

| 月    |      | 4   | 5   | 6   | 7   | 8   | 9   | 10  | 11  | 12  | 1   | 2   | 3   | 合計    |
|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 短期入所 | 実利用数 | 70  | 75  | 79  | 78  | 71  | 70  | 82  | 76  | 70  | 76  | 78  | 76  | 901   |
|      | 提供件数 | 169 | 178 | 193 | 202 | 161 | 191 | 209 | 186 | 174 | 176 | 188 | 197 | 2,224 |
| 日中一時 | 実利用数 | 56  | 58  | 58  | 53  | 50  | 53  | 55  | 50  | 55  | 57  | 49  | 54  | 648   |

5 監査指摘事項及び改善状況

監査実施日 平成26年10月29日

| 指摘事項  | 改善内容  |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重要事項として、説明すべき項目に不足等があったため、改めること。<br/>(不足：虐待の防止に関する事項、事故発生時の対応、サービス利用にあたっての留意事項)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指摘事項を修正・追加し、修正・追加した内容を利用者に配布した。<br/>※食事の額に関しては変更がなかったため、そのままの記載とした。</li> </ul> |



|  |   |
|--|---|
| ・契約書に不備があったため、改めること。                           | ・指摘事項を修正し、修正した内容を利用者に配布した。                                    |
| ・運営規程に不備があったため、改めること。<br>(法律名称、利用者負担額、食費の額)    | ・指摘事項を修正し、修正した内容を利用者に配布した。<br>※食事の額に関しては変更がなかったため、そのままの記載とした。 |
| ・勤務表(予定)を作成すること。                               | ・勤務表(予定)を作成した。  |
| ・消化訓練を年2回以上実施すること。                             | ・今年度は1月と3月に消火器の動作確認を行った。来年度以降は年2回実施していく。                      |
| ・事業所の見やすい場所に重要事項等の掲示を行うこと。<br>(協力医療機関、加算の届出状況) | ・協力医療機関、加算の届出状況を追加でファイリングし、1/5より事業所の玄関にファイルを掲示した。             |
| ・食事提供算定加算について、食事の提供を行う者については、すべて調理員として位置付けること。 | ・朝の調理員を配置した。  |

## 6 その他問題点及び反省事項

- ・常勤職員の増員に伴い、事務作業を分担して行うことができた。
- ・ショートステイどんたく、ニコニコホーム間で職員を派遣しあった。それぞれの事業所での勤務を通して、それぞれの事業の目的を確認する良い機会となった。
- ・利用者家族が入院することになり、緊急で利用者1名を受け入れた。短期入所本来の目的である緊急時の受け入れ対応をすることができた。

## G ニコニコホーム(共同生活援助)

### 1 入居者状況(平成27年3月31日現在)

| 共同生活住居名    | 入居人数             |
|------------|------------------|
| ホーム片平      | 4人(3人 平成27年7月～)  |
| ホーム森下公園    | 4人(3人 ~平成27年6月末) |
| ホーム松が根台    | 4人               |
| ホーム三高根     | 3人 平成27年4月～6月末   |
| ホーム光正寺     | 3人 ~平成27年6月末     |
| ホーム森下      | 3人 ~平成27年6月末     |
| ホーム森下北     | 4人 平成27年7月～      |
| ホーム森下南     | 4人 平成27年7月～      |
| ちゃれんじホーム野並 | 4人(3ヶ月毎交代)       |

| 年齢 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 男性 | 0   | 1   | 7   | 4   | 1   | 1   | 14 |
| 女性 | 0   | 1   | 4   | 2   | 0   | 1   | 8  |
| 合計 | 0   | 2   | 11  | 6   | 1   | 2   | 22 |

(ちゃれんじホーム入居者除く)

| 障害程度区分 | 区分1 | 区分2 | 区分3 | 区分4 | 区分5 | 区分6 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 人数     | 0   | 2   | 3   | 6   | 11  | 2   |

(ちゃれんじホーム入居者除く)

| 就労状況              | 人数 |
|-------------------|----|
| 福祉就労(生活介護事業所)     | 16 |
| 福祉就労(就労移行支援事業所)   | 1  |
| 福祉就労(精神障害者小規模作業所) | 1  |
| 一般就労              | 2  |
| 介護保険デイサービス        | 2  |

(ちゃれんじホーム入居者除く)

## 2 職員構成 (平成 26 年 4 月 1 日)

|     |      |   |
|-----|------|---|
| 常 勤 | 6 名  | 管理者 1 (内兼務 1)、サービス管理責任者 1、世話人 4 (内兼務 1)、生活支援員 1 |
| 非常勤 | 31 名 | 世話人 4、生活支援員 29                                  |

## 3 主な行事

- ニコニコ秋まつり・ホーム日帰り旅行 (足助・日間賀島)・オンブズマン来所相談・その他 (誕生日会・各ホームごとでの日帰り外出等)

## 4 昨年度との相違点

[本体]

- 2 つの共同生活住居の引っ越しを行った。引っ越した方、共同生活をする利用者が変更になった方は計 13 名。また同時に 2 名の新入居者をむかえた。
- 新住居が隣接した 2 軒のため、支援員を効率的に配置。休日など入居者が少ない時は 2 軒で 1 名の配置。
- 職員の欠員をショートステイ どんたく 職員の応援体制で賄った。

[ちゃれんじ]

- 2 期以降新規の利用申し込みが急増。定員 4 名に対して、毎回 4 名以上の申し込みがあった。(実際の利用者 2 期、3 期は 4 名全て新規利用者。4 期は 3 名新規利用者)。必然的に前年度と比較し複数回利用者が減少。
- 3 名の方が利用終了と共にグループホーム入居が決まった。
- 主訴愛着形成不全等、多様な方の利用がみられこれまでとは違った対応が支援員に求められた。
- 年度途中より、ちゃれんじホームの朝食メニューを本体ホーム同様栄養士作成のものに変更。また夕食はこれまででちゃれんじホームにて支援員が調理していたが、部分的に厨房での一括調理されたものを配達。
- ちゃれんじホームを本体ホーム同様、食事、勤務体系全てを本体ホーム業務に一元化する計画案作成。次年度実施の方向。
- 利用期間中、事業に適応できず、利用頻度が極度に少なくなる方が 1 名。

## 5 監査指摘事項及び改善状況

監査実施日 平成 26 年 10 月 29 日

| 指摘事項   | 改善内容  |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>重要事項として、説明すべき項目に不足等があったため、改めること。<br/>(不足：主たる障害種別、非常災害対策)<br/>(不備：利用料、苦情窓口 (障害者支援課の電話番号))</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>重要事項説明書：「指摘事項」をふまえ、作成し直し、掲示及び、利用者への説明を実施。</li> </ul>       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>勤務表 (予定) を適切に作成すること。<br/>また、人員基準を満たしているかどうかを確認するために、平成 26 年 7 月～9 月の勤務表を報告 (提出) すること。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 26 年 7 月～9 月の勤務表を作成。また平成 26 年 10 月より勤務表を作成。</li> </ul>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>事業所の見やすい場所に重要事項等の掲示を行うこと。(協力医療機関及び加算の届出状況)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの住居の玄関先等目につく場所に平成 26 年 11 月から掲示を行った。</li> </ul>        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>個別支援計画の作成期間がなかった期間において、個別支援計画未作成減算を算定し直すこと。<br/>ついては、自主点検の上、点検結果報告書を用いて報告し、返還額が確定した後に、必要な過誤調整 (返還) を行うこと。過誤調整 (返還) が完了したら速やかに返還完了報告書にて、その旨を報告すること。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>自主点検の実施。点検結果報告書を用いて報告。過誤調整 (返還) 完了。返還完了報告書にて報告。</li> </ul> |

(平成 26 年 7 月、8 月分 2 名)

## 6 その他問題点及び反省点

[本体]

- ・ 職員の退職に対して、充足がおいつかなかった。
- ・ 事業所の対応不備により苦情が複数回あった。
- ・ 利用者の定期的な無断外出があった。
- ・ 危機管理マニュアルの見直しができなかった。
- ・ 誤薬多量服薬事故 1 件あり。

[ちゃれんじ]

- ・ 服薬間違いの事故 1 件あり。
- ・ コーディネーター、支援員ともに様々な主訴を持つ軽度知的障害、発達障害の方への支援スキルの習得が必要

## H ニコニコハウス鳴海（生活介護事業）

### 1 対象者

18 歳以上の知的障害者、身体障害者、精神障害者

### 2 利用定員

20 名

### 3 職員構成

|     |     |                                |
|-----|-----|--------------------------------|
| 常勤  | 4 名 | 管理者・サービス管理責任者の兼務 1、生活支援員 3     |
| 非常勤 | 9 名 | 生活支援員 7（内調理員と兼務 1）、看護師 1、嘱託医 1 |

### 4 事業実績

| 月      | 4    | 5    | 6    | 7    | 8    | 9    | 10   | 11   | 12   | 1    | 2    | 3    | 計    |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 延利用者数  | 335  | 317  | 343  | 353  | 261  | 335  | 367  | 293  | 283  | 295  | 306  | 352  | 3840 |
| 提供日数   | 21   | 20   | 21   | 22   | 16   | 20   | 23   | 18   | 18   | 19   | 19   | 22   | 239  |
| 平均利用者数 | 16.0 | 15.9 | 16.3 | 16.0 | 16.3 | 16.8 | 16.0 | 16.3 | 15.7 | 15.5 | 16.1 | 16.0 | 16.1 |

### 5 監査指摘事項及び改善状況

監査実施日 平成 26 年 10 月 29 日

| 指摘事項  | 改善内容  |
|---|---|
| ・ 休憩時間について、就業規則に規定すること。                             | ・ 就業規則勤務時間別表を改正し、平成 26 年 12 月 7 日の理事会で議決を経て平成 27 年 1 月 1 日より就業規則を改正し、施行した。              |
| ・ 災害用非常食を必要量備蓄すること。                                 | ・ 平成 26 年 12 月 1 日にホーム森下北、ホーム森下公園の倉庫に整備した。  |
| ・ 消火訓練を年 2 回以上実施すること。                               | ・ 平成 26 年度については 2 月と 3 月に職員対象として消火器の取り扱い訓練等を実施。来年度以降は 6 月と 10 月の火災、地震避難訓練時に消火訓練も行う。     |
| ・ 契約については、経理規定に定める契約書を省略できる場合を除き、契約書を取り交わすこと。       | ・ 当日指摘された不備に関して、後日確認したところ一部資料がそろっていた為、改めて資料を添付した。また今後の契約に関しては経理規定に定める通りに適正な形で契約書を取り交わす。 |
| ・ 検食は、提供前に調理従事者を除く職員により交代で実施し、検食者・検食時間及び内容の記録を残すこと。 | ・ 平成 26 年 12 月 22 日より、検食簿を整備し実施している。  |
| ・ 保存食は施設で調理した全てについて保存すること。                          | ・ 平成 26 年 12 月 9 日より、主食を含め調理した全てにつ  |

|   |  |
|---|--|
|   | いて保存している。  |
| ・サービス管理責任者は、生活介護計画の作成に係る会議を開催した際には、記録として残すように努めること。 | ・生活介護計画に係る会議においては、議事録を作成し、保存している。                        |
| ・重要事項として、説明すべき項目に不足等があったため、改めること。                   | ・重要事項説明書に不足部分を追加修正した。                                    |
| ・契約書に不備があったため、改めること。                                | ・契約書を修正した。   |
| ・アセスメントシートを作成すること。                                  | ・利用者全員分のアセスメントシートを作成している。                                |
| ・運営規定に不備があったため改めること。                                | ・運営規定を修正し、所管課へ変更届けを提出した。                                 |
| ・勤務表（予定）を作成すること。                                    | ・平成26年11月から勤務予定表を作成し、使用している。                             |
| ・備品に関する諸記録を整備すること。                                  | ・備品一覧を作成、随時更新、保存する。                                      |
| ・欠席時対応加算について、利用者の状況に加え、相談援助の内容等についても記録すること。         | ・記録書式を整え利用者欠席時の対応を記録している。                                |
| ・食事提供体制加算について、食事の提供を行うものについては、すべて調理員として位置付けること。     | ・平成26年11月より食事の提供を行う者について、調理員として位置付け実施している。又、関係書類の修正を行った。 |

## 6 その他問題点及び反省事項

- ・プログラム内容でクラブ活動など充実できた部分はあったが、一部で活動内容が固定化され利用者のモチベーションの向上を図ることができなかった。
- ・利用者へのサービス評価アンケートを実施した。利用者の評価やニーズを知ることができ、職員の意識向上が図れた。またアンケート結果を基に事業計画を立てることができた。
- ・日常での施設整備や防災対策として家具転倒防止、防災ヘルメット、保存食の整備はできた。2階からの避難経路、飛び出し防止の方向性は検討したものの設置には至っていない。
- ・職員の不注意に起因する単独の事故が複数発生した。

## I ニコニコハウス鶴里(生活介護事業)

### 1 利用者状況(平成26年4月1日現在、定員40名、現員45名)

| 年齢別 | ～25歳 | 25歳～29歳 | 30歳～34歳 | 35歳～39歳 | 40歳～44歳 | 45歳～ | 合計 |
|-----|------|---------|---------|---------|---------|------|----|
| 男   | 0    | 2       | 3       | 11      | 4       | 0    | 20 |
| 女   | 0    | 0       | 8       | 10      | 7       | 0    | 25 |
| 合計  | 0    | 2       | 11      | 21      | 11      | 0    | 45 |

#### \*入・退所状況

|    |   |
|----|---|
| 入所 | 0 |
| 退所 | 1 |

#### \*障害支援区分(平成27年3月31日現在)

| 区分 | 1 | 2 | 3 | 4  | 5  | 6 | 合計 |
|----|---|---|---|----|----|---|----|
| 人数 | 0 | 1 | 7 | 22 | 11 | 3 | 44 |

### 2 職員構成(平成26年4月1日現在)

|     |     |                         |
|-----|-----|-------------------------|
| 常勤  | 6名  | 管理者1、サービス管理責任者1、生活支援員4  |
| 非常勤 | 20名 | 生活支援員16、看護職員1、調理員2、嘱託医1 |

#### \*入職・退職状況

|    |   |
|----|---|
| 入職 | 3 |
| 退職 | 3 |

## 3 事業実績

|      | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 合計   |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 在籍   | 45   | 45   | 45   | 45   | 45   | 44   | 44   | 44   | 44   | 44   | 44   | 44   |      |
| 述べ人数 | 834  | 812  | 859  | 886  | 620  | 779  | 847  | 713  | 745  | 764  | 746  | 875  | 9480 |
| 事業日数 | 21   | 20   | 21   | 22   | 16   | 20   | 22   | 18   | 19   | 19   | 19   | 22   | 239  |
| 平均   | 39.7 | 41.6 | 40.9 | 40.2 | 38.7 | 38.9 | 38.5 | 39.6 | 39.2 | 40.2 | 39.2 | 39.7 | 39.7 |
| 欠席対応 | 40   | 17   | 17   | 19   | 19   | 16   | 40   | 14   | 33   | 14   | 14   | 15   | 256  |

|      |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |      |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 送迎日数 | 240 | 223 | 235 | 252 | 164 | 266 | 290 | 236 | 252 | 256 | 255 | 299 | 2968 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|

#### 4 主な行事

- H26年 6/19～20 全体イベント活動:「ニコニコ即売会」
- 8/11 全体行事:「法人夏まつり」
- 9/26 全体行事:「日帰り旅行」～ラグーナ蒲郡・竹島水族館～
- 9/30 全体イベント活動:ひまわり横丁3周年記念イベント出店
- 10/9 大高クリニックこころの健康相談
- 10/28 地震避難訓練
- 12/16～19 全体イベント活動:「クリスマスイベント」
- H27年 1/28 健康診断(半田医師会)
- 2/20 職員向けケース検討会(大高クリニック)
- 3/10～12 全体イベント活動:「ホワイトデーイベント」
- 3/12 あいち福祉オンブズマン訪問相談
- 3/25 火災避難机上訓練
- その他 ・余暇支援活動「おたのしみ活動」(毎月)～名古屋城、喫茶、カラオケ等～
- ・全体行事:おたんじょう日会(毎月)、「顔合わせ会」「忘年会」「新年会」「慰労会」
- ・休日イベント活動:有松絞りまつり さわやかウォーク 南区民祭り 法人秋祭り出店
- ・施設内大掃除:6月、8月、9月、12月、1月

#### 5 特記実施事項

- 学生実習生受け入れ(8名)
- パン屋内オープンの老朽化に伴う買い替え
- 衛生環境整備 :身障用トイレ床面工事、脱衣場:汚物処理専用流し設置及び床面工事
- 衛生意識の向上:嘔吐物処理対策講習会(職員)、利用者向け手洗い講習会の実施

#### 6 監査指摘事項及び改善状況

平成26年度監査なし

#### 7 その他の問題点及び反省事項

- ・授産製品の売上低下による利用者工賃の確保が厳しい現状だった。
- ・法人内他事業所栄養士による厨房の衛生管理チェック等実施。

- ・縫製・小物品の販路拡大、商品価値を高めていくことを目的として、アドバイザーを導入した。
- ・送迎サービス利用者増加傾向。前年比：月平均で 50 件程度。送迎以外のところでも車の稼働率が多いことから運転手の確保に苦慮した。
- ・新規利用者、職場体験実習の受け入れについては、現場の体制整備を優先していくを理由に本年度は未実施。
- ・設備、大型機材等の老朽化が目立ち、買替・メンテナンス費用が増加。
- ・車両の物損事故 1 件→相手方とは示談書を締結。

## J 地域生活支援センターなごみ（障害者・高齢者在宅生活支援事業）

### 1 対象者

緑・南区に在住もしくは職場・学校が緑・南区にあり何らかの支援を必要とする方

### 2 事業内容

公的なサービスの隙間を補うための有料サービスの提供を行う。

| サービス名     | 利用料                        |
|-----------|----------------------------|
| 宿泊体験      | 10,000 円                   |
| 宿泊サービス    | 3,000 円 (21:00～翌 8:00)     |
| 夕食コース     | 2100 円(夕食を含む)              |
| タイムケアサービス | 1,000 円/1 時間               |
| 車サービス     | 100 円/1 キロ                 |
| 食事サービス    | 朝食 300 円・昼食 400 円・夕食 500 円 |
| 陶芸クラブ     | 利用料 1,000 円 講師謝礼 3,000 円   |
| イベント      | 内容ごとに設定                    |

### 3 職員構成

|     |     |       |
|-----|-----|-------|
| 常 勤 | 1 名 | 管理者 1 |
| 非常勤 | 若干名 | 介助員   |

### 4 事業実績

| サービス名 | 宿泊体験 | 宿泊  | 夕食コース | タイムケア | 車   | 食事                | 陶芸  |
|-------|------|-----|-------|-------|-----|-------------------|-----|
| 利用時間等 | 0 名  | 0 泊 | 0 件   | 0H    | 0km | 朝 0<br>昼 0<br>夜 0 | 0 件 |

### 5 その他問題点及び反省事項

- ・ 障害福祉サービスの提供で充足され、当年度も有料サービスの需要、提供はされなかった。
- ・ 数年度、事業実施の無い状況が続くため、理事会に事業の廃止案を提案、26 年度末での事業廃止が議決された。